

沖縄などで見られる魔除けの意味もあるシーサーを考えてつくってみましょう

シーサーをつくらう

作品づくりのオススメポイント

- 彫塑ねんどは自然乾燥させるだけで、焼き物のような風合いに仕上がります。
- 乾燥後、少し水をつけ、軍手などで磨くと金属のような光沢になります。
- 乾燥後、彫刻刀や紙やすりで簡単に加工でき、絵の具で発色よく着色できます。



用意するもの



- 彫塑ねんど
- ねんど板
- ヘラ



1
ねんどを丸めて塊からつくり
ます。

POINT 袋に小指の先ほど補修用にねんどを取
っておきましょう。



2
胴体から足やしっぽを引っぱ
り出します。

POINT 引っ張り出しながらかつくる事により
壊れにくい作品になります。



3
頭の真ん中に穴をあけて口に
します。

POINT 閉じた口にする場合はヘラなどで切り
込みを入れましょう。



4
目や鼻をつけて顔をつくりま
す。

POINT 部品が外れないように、しっかり指先
でならします。



5
ヘラなどで模様を入れて仕上
げ乾燥させます。

POINT 乾燥後、補修する場合は補修箇所に
水をつけ、ねんどを刷り込みます。



乾燥後



水彩絵の具などで発色良く着色
することができます。

POINT ねんどの色を生かした配色を心がけま
しょう。

乾燥後



水をつけ、軍手などで磨くと光
沢が出ます。

POINT 磨く時に壊れないようにしっかりと
した作品をつくりましょう。

乾燥後



彫刻刀で削り加工する事がで
きます。

POINT 失敗した場合、残しておいた補修用
のねんどで埋めましょう。

